

## 国家試験委員会活動計画書

委員長名 坪川 トモ子

<b>【委員会名】</b>	国家試験委員会
<b>【メンバー】</b>	<p>板垣昭代(独協医科大学看護学部) ¥大谷喜美江(日本赤十字豊田看護大学看護学部)  ○大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 齋藤公彦(福山平成大学看護学部)  ◎坪川トモ子(新潟青陵大学看護学部) 播本雅津子(名寄市立大学保健福祉学部)</p> <p>50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名</p>
<b>【活動方針】</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎年の保健師国家試験の出題内容に関する意見をとりまとめ、厚生労働省に意見書を提出する。</li> <li>2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準の点検・評価を行う。</li> <li>3. 国家試験問題作成のための研修会を実施し、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップできる力を育成する。</li> </ol>
<b>2020(令和2)年度</b>	
<b>達成目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Web調査による第107回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。</li> <li>2. 養成校別保健師国家試験合格率の推移等など国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。</li> <li>3. 保健師国家試験問題出題基準見直しに関する意見書を厚生労働省に提出する。</li> <li>4. ブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応し、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。</li> </ol>
<b>活動計画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第107回保健師国家試験の出題内容について、会員校に対する全国調査を行い厚労省に結果を示す(2月)。 調査の際は、複数校による検討を推奨し、教員の力量向上と信頼性を確保する。</li> <li>2. 保健師国家試験合格状況や全問調査結果の検討過程の資料化など、会員校への情報提供を行う。</li> <li>3. 「保健師国家試験出題基準の見直し」に関する意見書を厚生労働省に意見書を提出する。</li> <li>4. ブロックからの作問研修など講師要請に応じ講師を派遣する。</li> </ol> <p><b>【活動の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回委員会(6月):保健師出題基準調査結果、養成校種別など合格率の分析</li> <li>・第2回委員会(10月):ブロック別活動状況の情報交換</li> <li>・会員校への第107回保健師国家試験内容調査依頼(1月)</li> <li>・第3回委員会(2月):第107回保健師国家試験に係る内容・環境調査結果分析・厚生労働省への意見書作成</li> <li>・第107回保健師国家試験合格率に関する分析(3月)</li> </ul>